

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



17.7.12
週報第 647号

こども感染症情報

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第27週(7/3~7/9) (26週)	
	発生数(人)	前週との比較
流行性耳下腺炎	2 (0)	→
ヘルパンギーナ	3 (3)	→
感染性胃腸炎	17 (32)	↘
溶連菌咽頭炎	7 (6)	→
川崎病	1 (0)	→
水痘	3 (7)	↘
咽頭結膜熱	1 (2)	↘
手足口病	34 (22)	→
突発性発疹	4 (4)	→

(参考) 秋田県の状況 第26週(6/26~7/2)
<全県の発生状況>
1位：感染性胃腸炎 (全県で前週より2%増加)
2位：手足口病 (全県で前週より21%増加)
3位：溶連菌咽頭炎 (県全体で全週より28%減少)
4位：水痘
5位：咽頭結膜熱
県内 警報・注意報
警報：手足口病(大館・秋田中央)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

横手地域・学校欠席者情報(7/10)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	咽頭結膜熱	その他
施設(数)								
保育所・園(35)		3		9		4	1	2
小学校(22)				4		1		
中学校(8)			1			1		
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症について



週報第638号でもお知らせしましたが、県内では第26週までに8件報告され、既に例年を上回っています。急激に病状が進行して、重篤化する疾患ですので、今後の発生動向に注意してください。

こどもがよくかかるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、症状も危険性も全く異なります。傷口やのどの粘膜を介して、感染しますが、実際の感染経路は不明な場合も多く、その詳細はわかりません。

症状は手足に強い痛みや創部の発赤、腫脹、発熱がみられ、急激に症状が進行して、ショック状態に陥り、死に至る場合もあります。抗菌薬が有効なため、早期に治療を開始することが重要です。